

鳥取市

とっとり市ワーケーションガイド

Tottori City Workation Guide

サンドボックス
Sandbox



リノベーション
Renovation



サステナブル
Sustainable

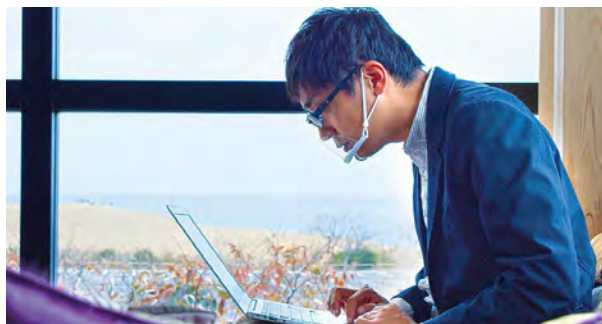
とっとりで取り組む
新たなストーリーを応援します

様々な助成制度をご用意し、1社1社のご都合を伺いながら、
ワンストップできめ細やかに対応させていただきます

鳥取はワーケーションの適地！

「ワーケーション」とは、仕事 (work) と休暇 (vacation) を組み合わせた造語であり、休暇中に旅先といった場所で仕事をする新しい働き方として、アメリカなどを中心に広まりつつあるスタイルです。

鳥取市は、日本最大級の広大な砂丘を有する、人口最少県の県庁所在地です。言い換えれば、日本で一番、密を回避できる、今後のニューノーマル時代で働く適地と言えます。



協力：(一社)日本ワーケーション協会

■ ワーケーションのメリット

業務への活力アップ

旅行先で仕事をするスタイルであり、仕事以外の時間を自由にワーケーションスポットで過ごせます。それにより業務へのモチベーションアップや生産性の向上が期待できます。

仕事をしながら家族時間の確保

家族と一緒にワーケーションを行った場合、仕事のスケジュールが埋まっても、仕事以外の時間に家族とのコミュニケーションをとれます。

すぐリフレッシュできる

旅先での仕事により、その土地のリフレッシュスポットがすぐに活用できます。仕事のオン・オフの切り替えができ、クリエイティビティや生産性の維持向上にも役立ちます。

■ 意外と便利な交通アクセス！

鳥取市は、陸 (鉄道、高速道路)・海 (港湾)・空 (空港) の交通基盤が整う日本海沿岸地域有数の物流拠点であり、輸送面において利便性の高い地域です。

東京 (羽田空港) へは

1時間10分 でアクセス

鳥取空港から中心市街地

までは **15分** 圏内

京阪神 (神戸・大阪・京都)、
山陽方面 (岡山) へは JR
の特急列車で

ダイレクトにアクセス



■ 「住みたい田舎」ランキングの常連

鳥取市は、自然豊かで暮らしやすく、幅広い世代を応援する施策が充実していることなどが評価され、田舎暮らしの専門誌である株宝島社『田舎暮らしの本』による「住みたい田舎ベストランキング」で、**鳥取市は11年連続トップ10** 入りを果たしています。2020年版「子育て世代が住みたい田舎部門」では、見事 **第1位** を受賞しました。



鳥取市で働いてみませんか？

■ 多様な働き方が可能な条件が揃う都市

日本経済新聞社と東京大学との調査「多様な働き方が可能な条件が揃うトップ10」で、鳥取市は第2位に選ばれました。コロナ後も密の解消が進み、中堅都市の求心力が高まる都市として、注目されています。

▼ 多様な働き方が可能な条件が揃うトップ 10

順位	都市	総人口	総合点
1	石川県小松市	108,265	67.0
2	鳥取県鳥取市	186,960	66.0
3	富山県高岡市	170,493	65.5
4	愛媛県西条市	108,961	64.5
5	長野県飯田市	100,702	64.0
6	青森県青森市	281,232	63.5
7	石川県金沢市	452,220	62.5
7	福井県福井市	263,152	62.5
9	新潟県上越市	191,197	62.0
9	滋賀県彦根市	112,975	62.0
9	福島県会津若松市	118,322	62.0

『2020年1月時点で人口10万人以上の市と特別区に絞り点数化しました。分析したのは公衆無線LANの整備状況や通勤時間など8つの指標。順位を付けると、人口10万人の石川県小松市が首位となり、トップ30の68%を10万人台の都市が占めました。テレワークなどコロナで人々の生活は変わり、多様な働き方が重要となっています。

(中略)

2位には人口18万人台の鳥取市がランクインしました。力を入れるのが旅先で仕事をするワーケーションです。豊かな観光資源やコンパクトな都市を生き、休暇を取りながらホテル近くの施設で働くといった需要を掘り起こします。ある専門家は「コロナ後も『密』の解消が進み、中堅都市の求心力は高まる」との見通しを示します。』

※日本経済新聞 令和3年7月21日記事より引用

■ 「働きながら余暇を過ごす」新たなワークスタイル



とっとりワーケーションネットワーク

TOTTORI WORKATION NETWORK

鳥取がワーケーションの適地として選ばれる地域を目指すため、地域連携DMO・商工団体・行政が主体となって、『とっとりワーケーションネットワーク協議会』を設立し、関係団体が一体となった取り組みを進めています。鳥取市でワーケーションをしたい方は、お気軽に下記の運営事務局までご相談ください。

【運営事務局】一般社団法人 麒麟のまち観光局

〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町3 東栄ビル 3F
☎0857-50-1785 ✉network@tottori-inaba.jp



会員募集中!



ワーケーション

@鳥取砂丘

■ 国立公園 [鳥取砂丘] で仕事をしませんか



鳥取を代表する鳥取砂丘は、都会の喧騒から離れ、雄大で開放的な自然を味わう事ができる、まさに異世界と呼べる環境です。鳥取砂丘は鳥取空港や鳥取駅から車で15分という立地にあり、アクセスにも優れています。日常空間から離れ、鳥取砂丘という広大な自然環境の傍で働くことに興味がある人にお薦めです！

■ 砂丘西側エリアの再整備

在型観光を推進するため、鳥取砂丘西側エリアの再整備を進めています。2024年にはグランピング施設「ヤマタ鳥取砂丘ステーション」が、2026年にはリゾートホテル「ラグジュアリーコレクション」が開業予定です。※ラグジュアリーコレクション写真はイメージとなります。今後変更となる場合があります。



■ 鳥取砂丘月面化プロジェクト

鳥取砂丘は、国内で最も月面に近い環境であるといわれています。そんな鳥取砂丘を舞台にした、宇宙体験可能エリアの創出に向けた取り組みが進められています。国際的な月面開発に照準を合わせ、官民一体で鳥取砂丘の月面開発拠点化を目指しています。あわせて、市内で科学技術を支える、新しい産業創出の仕組みづくりを進めています。2023年には、月面探査車、宇宙機器など、国内外の企業・研究者が実証実験に活用できる、国内で初めての実証フィールド「ルナテラス」が誕生しました。



AR グラスを利用し、夜の鳥取砂丘を舞台とした、未来の月面都市を体験できる取り組みが行われています。



実証フィールド「ルナテラス」は、鳥取砂丘の地質・起伏を模した、国内外の企業・研究機関が実証事業に活用できる空間です。



鳥取県内外の宇宙関連事業者が集結し、「とっとり宇宙産業ネットワーク」が設立され、積極的な意見交換や学習の場が提供されています。

■ コワーキングスペースでトライアル

地域が持つ資源から鳥取方式の先駆型ビジネスを創出し、県外企業とともに地域課題を解決するため、県内外の事業者等が利用する、新しいワークプレイスを提供します。



ホームページ

共創型・鳥取式ベンチャー人材の養成拠点

サンド・ボックス・トットリ

SANDBOX TOTTORI

@鳥取県鳥取市浜坂 1390-224

国内最大級の実証フィールド「鳥取砂丘」を「サンドボックス」と称し、県内外の先駆型ビジネスに取り組む企業が集結します。「鳥取式ベンチャー人材養成プログラム」を行い、地方で活躍する人材の発掘から入居企業への斡旋、市内へのサテライトオフィス立地へ繋げ、地域・企業・観光客がwin-win-winの関係になる、新たなビジネスを創出します。



公認ワーケーション
コンシェルジュ
株式会社skyer 作田 晴香氏



こんな仕事
やってます!

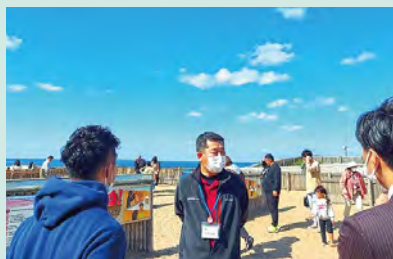
ワーケーション@鳥取砂丘の事例をご紹介



詳しくはこちら

地域課題解決型ワーケーション

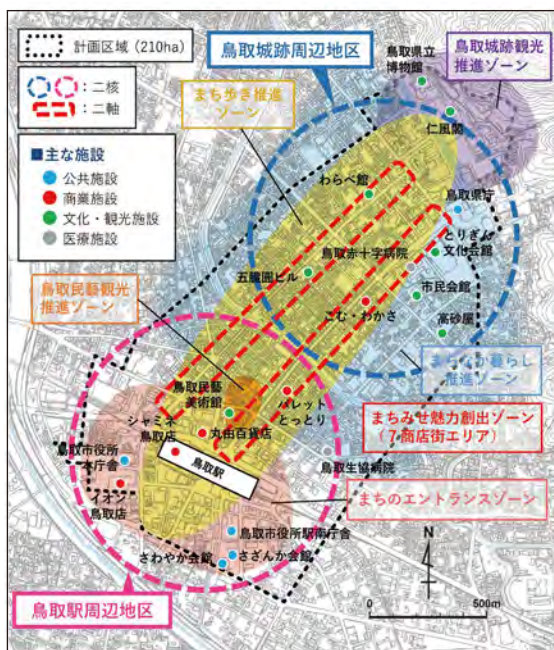
鳥取市ならではの魅力が詰まったプランを作成するとともに、主に県外企業に向けたワーケーションモニターツアーを催行し、鳥取市で働くからこそ起こせるイノベーションの創出機会を県内外の企業に発信しています。地域課題と地域に関心のある若者をマッチングする課題解決型プログラムツアーや、鳥取の若者と県外企業が参加し、未来の地域に必要な「新たな価値」を創出し、地域発展に向けた新たな可能性を見つけるプログラムなどを提供しています。



ワーケーション

@中心市街地

■ まちなか [中心市街地] で仕事をしませんか



鳥取の中心地は、都会のように混雑した働き方から解放されるだけでなく、日常生活に必要なものは全て整っています。

市内要所を繋ぐハブとなっているため、アクセスもよく、短時間で魅力的な自然環境に触れることができ、「田舎過ぎない田舎」として快適に働くことができます。

都会にストレスを感じている人、地方の自然の中で暮らすことに興味がある人に、お薦めします！

■ リノベーションまちづくりの推進

民間事業者など、プレイヤーによる、民間自立型でのリノベーション手法による遊休不動産の利活用を進め、中心市街地の魅力向上と若年層の居住促進を図るための取り組みを進めています。



■ 次の50年へ、未来創造ステーション

鳥取駅周辺は、当時の開発から約半世紀が経過する中で、交通施設など老朽化や機能低下が深刻化しています。麒麟のまち圏域の中心拠点として、誰もが安心、快適に利用できる総合交通ターミナルを整備し、魅力的で居心地がよく歩きたくなる空間づくりを目指すため、2023年度より「鳥取駅周辺リ・デザイン会議」を設立し、鳥取駅周辺の再生に向けた取り組みを推進しています。

今を生きる我々が、次の50年へと繋ぐ架け橋となり『ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ』を実現するため、産学金官で連携しながら一体的なまちづくりを進めています。



■ コワーキングスペースでトライアル

鳥取市の中心地に、小規模から中規模までの社員が働くことができるコワーキングスペースを整えています。日用品や食料類を近くのお店ですべて購入でき、ホテルからも近く、通勤もストレスフリーです。



ホームページ

「新しい暮らし」と「新しい働き方」を実現する

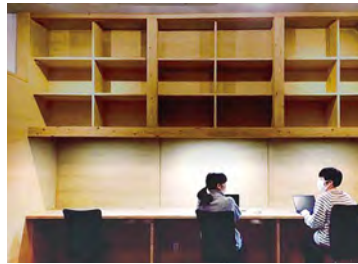
マーチング・ビル

MARCHING bldg.

@鳥取県鳥取市栄町 627



市内の空き店舗のリノベーションによって生み出された、地元企業・個人事業主向けのシェアオフィスであり、首都圏企業のサテライトオフィスです。コワーキングスペースでの交流・協働を通じて、地元企業と都市部の企業、個人事業主と会社員、社会人と学生など、多様な出会いが得られる空間となっています。



公認ワーケーション
コンシェルジュ
（株）まるにわ 齋藤 浩文 氏



ワーケーション@中心市街地の事例をご紹介します



詳しくはコチラ

関係人口と歩む『まちづくりワーケーション』

オフラインとオンラインが複合したコミュニティ

鳥取で暮らす人材と都市部の関係人口メンバーでチームを組み、鳥取市中心市街地のまちづくり課題に取り組む、約3ヶ月間のワーケーションプログラムです。具体的な遊休不動産をテーマに、現地フィールドワークとオンライン会議を通じて事業計画を策定し、事業化を目指します。

実在する空き家・空き店舗や公共空間（公園や河川など）をテーマにし、鳥取市と都市部の両方の人材が関わりを続けていく事で変容し合っていくことが特徴のプログラムです。





ワーケーション

@鹿野城下町

■ [鹿野城下町] で仕事をしませんか

鳥取市の西部にある鹿野地域は、鹿野城跡や城下町の町並みが色濃く残る歴史情緒あふれる町です。古くから交通の要となつて栄えていた町を、1581年に鹿野城主となつた亀井茲矩氏が城下町として整えていきました。鹿野町には昔ながらの町並みが残り、京風の格子構えを残した家屋や水路など、当時の面影がよく残っています。都会の喧騒を忘れ、通称「まめ京都」と呼ばれる、昔ながらの伝統と気品が漂う町で働くことで、都会では見る事ができなかった新たな発見に気づいてみませんか？



■ 「住民主体のまちづくり」を行っています

鹿野地域は、地元住民が中心となつて、さまざまな町の課題の解決に向け、自分たちでできることを積極的に行っている、まちづくりの盛んな地域です。関係人口の創出・拡大のための取り組みも先駆的に行っています。この他にも、耕作放棄地を活用した果樹振興プロジェクト、廃校を活用した劇場で表現力を学ぶ企業研修、地元の温泉熱を活用したスマート農業を実施するなど、「やらないな、しょういな（やろうよ、してみようよ）」精神に繋がる魅力的な取り組みがたくさん行われている町です。



果樹の里山プロジェクト



劇場を舞台にした企業研修



温泉熱を活用したスマート農業

■ コワーキングスペースでトライアル

鹿野山紫苑は鳥取市鹿野町という城下町にある国民宿舎です。温泉は心身両面で癒やされながら、仕事に向き合ってみませんか。



ホームページ

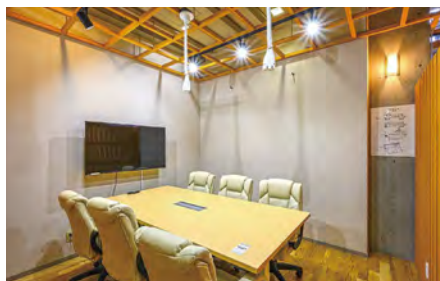
「四季薫るまち」鹿野の源泉

しかのさんしえん

鹿野山紫苑

@鳥取県鳥取市鹿野町今市 972-1

鳥取いなば温泉郷の鹿野温泉で自慢の庭園露天風呂と大浴場&展望風呂で温泉を満喫できます。源泉かけ流しの贅沢な温泉をこころゆくまで堪能しながら、歴史情緒あふれる町でワーケーションに取り組んでみませんか。



こんな仕事
やっています!

ワーケーション@鹿野城下町の事例をご紹介します

越境学習『こところらぼ』プログラム



詳しくはコチラ

『越境』して学ぶ4か月の協働プロジェクト

鹿野町における空き家の問題、地域に眠る古材・古民具のアップサイクルをテーマに、多様な業種・業界から成る企業メンバーと地域事業者・まちづくり団体が、協働しながら地域課題解決に取り組むプログラムです。現地に足を運び、情報収集・問題把握を行い、チームで対策立案をし、最終的には社会実装を目指します。



ワーケーションからの企業立地

鳥取市では、企業のニーズに応じたきめ細やかな優遇制度を設けています。鳥取市だけでなく、鳥取県の制度とも併用することが可能です！

新たに建物等を新設・増設する場合は、鳥取市と鳥取県の両方で、別途ご支援させていただいています。鳥取市・鳥取県の制度を併用した場合、設備投資総額の**最大20%、上限7億円**の助成が可能です！

鳥取市 オフィス移転・新設支援事業補助金

	[A] 成長産業事業応援メニュー	[B] 小規模立地支援メニュー	[C] 中規模以上立地支援メニュー
補助率	1/4	1/3	1/2
補助限度額	150万円	200万円	500万円
対象事業	今後成長が期待される分野についてオフィスを本市内に移転・新設する事業または設置を前提として行う事業	小規模なオフィスを本市内に移転・新設する事業	中規模以上のオフィスを本市内に移転・新設する事業
補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> 指定申請日時点で本市内にオフィスを設置していない事業者 指定申請日時点で本市内に事業所等を移転・新設し1年以内の事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 指定申請日時点で本市内にオフィスを設置していない事業者 交付申請日時点で雇用者が2人以上いる事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 指定申請日時点で本市内にオフィスを設置していない事業者 交付申請日時点で雇用者が5人以上いる事業者
対象経費	事業の実施に必要な経費(設備購入費、賃借料、通信費、委託費、調査費、光熱費等)※人件費は除く。	テナント改修、設備等の購入及びオフィスの移転に要する経費	

鳥取県 とっとり先駆型ラボ誘致・育成補助金

	[D] 事前調査支援	[E] オフィス設置支援
補助率	1/2	1/2
補助限度額	30万円	200万円
補助期間	最長1年間	最長2年間
対象事業	自然科学研究所、ソフトウェア業、デザイン・機械設計業、コンテンツ企画作成業、情報処理・提供サービス業、社会・地域課題に資する事業等のうち、先駆的事业、機能・業務分散を行おうとする事業者など	
補助要件	県内企業・団体等と連携して事業を推進すること ※県内企業と連携して新たな商品を開発する場合など	
対象経費	交通費、委託費、共同調査費、通信費、サテライト施設利用料など	事業所改修・賃借費、機器設備取得・賃借費、セキュリティ対策費、通信費、共同研究費、光熱水費、交通費など

鳥取県 研究開発拠点設置支援補助金

	[F] 小規模型	[G] 大規模型
補助率	1/2	1/2
補助限度額	500万円	5,000万円
補助期間	最長3年間	
対象事業	製造業、自然科学研究所、ソフトウェア業、デザイン・機械設計業、コンテンツ企画作成業、情報処理・提供サービス業など	
補助要件	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発事業を行うこと 雇用2名以上で行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> 県外本社の研究開発及び新規事業開発を行う機能の全部又は一部を県内移転すること 産業未来共創補助金の認定を受けること
対象経費	事業所改修・賃借費、機器設備取得・賃借費、セキュリティ対策費、通信費、共同研究費、光熱水費、交通費、人件確保・育成費用など	

※ 補助金の交付に当たっては、上限額等その他の各種要件があります。

オフィスの検討段階から実際にオフィスワークを始めるまで、
鳥取市と鳥取県の両制度で、段階に応じた支援を用意しております。

鳥取市	企業立地促進補助金
対象事業	製造業、自然科学研究所、ソフトウェア業、 情報処理・提供サービス業など
適用要件	投資額：3,000万円以上 雇用人数：増加した雇用者数3人以上
補助金額	<ul style="list-style-type: none"> 投下固定資産額の10% 初年度賃借料の50%補助
限度額	2億円

鳥取市	情報通信関連企業立地促進補助金
対象事業	ソフトウェア業、デザイン業、インター ネット付随サービス業など
補助対象経費	借室料
補助金額	対象経費の1/4
補助期間	操業開始から2年間または5年間。 1年ごとの実績により交付
年間補助限度額	200万円/年 または 500万円/年

鳥取県	産業未来共創補助金（大型投資）
対象事業	製造業、自然科学研究所、ソフトウェア 業など
適用要件	投資額：3,000万円超 雇用人数：増加した雇用者数3人以上
補助金額	<ul style="list-style-type: none"> 投下固定資産額の10% 初年度賃借料50%補助 人材確保経費50%補助 少額資産10%補助
限度額	5億円

鳥取県	先端的デジタル活用企業立地促進補助金
対象事業	ソフトウェア業、デザイン・機械設計業、 コンテンツ企画作成業など
補助対象経費	事業所・設備の賃借料、人材確保経費
適用要件	雇用数：増加した雇用者数5人以上
補助金額	対象経費の1/2
補助期間	要件達成の日から5年間。1年ごとの実 績により交付
年間補助限度額	1,000万円/年

鳥取県・鳥取市双方の制度を活用した支援範囲と限度額

1 オフィス移転段階（本社移転/サテライトオフィス進出）

テナント改修設備購入		→	本社からの設備移転	
補助項目	・テナント改修経費 ・設備等の購入経費		補助項目	・設備等の移転経費
支援範囲	10/10を支援		支援範囲	1/2を支援
補助金額	最大1,000万円		補助金額	最大500万円
支援団体	鳥取県と鳥取市が補助		支援団体	鳥取市が補助

2 社員確保段階

補助項目	・人材確保費 ・企業が負担する従業員と 家族の転居経費
支援範囲	1/2を支援
補助金額	最大1,000万円
支援団体	鳥取県が補助

3 オフィスワーク開始

補助項目	・テナント賃料	補助項目	・設備賃料 ・ソフトウェア利用料
支援範囲	3/4を支援	支援範囲	1/2を支援
補助金額	最大1,500万円/年 × 5年間		
支援団体	鳥取県と鳥取市が補助		

補助金の
詳細は
こちらまで!



詳しくはコチラ

鳥取市 企業立地・支援課
☎(0857)20-3225
✉ricchi@city.tottori.lg.jp

Tottori City Workation Guide



[令和6年4月発行]

鳥取市経済観光部 経済・雇用戦略課
スマートエネルギータウン推進室



とっとりワーケーション
ネットワーク



SDGs 未来都市
TOTTORI CITY